

自然保育推進事業 活動報告書

社会福祉法人 MONDEN 会
幼保連携型ゆめはうす認定こども園

【令和元年度自然保育活動概要】

① 環境構成に関すること

本園は、尾道市高須町の中心的住宅地に位置し、周囲には、J R山陽本線東尾道駅や交通量の多い道路、高層住宅やショッピングセンターがある。

心豊かに活動する子どもを目指し、子どもたちが自然を取り入れて遊ぶことが出来るよう、地域環境を活用しながら、日々保育活動している。また、本園は、園庭が3か所あり、子どもが自ら育つ園庭作りを目指している。

② 特に印象的だった遊びの事例に関すること

『☆3歳児 夏の園庭☆』

雨上がりの第3園庭、いつものように大きな水たまりができて、子どもたちはスコップで豪快に水しぶきをあげて遊んでいます。

そんな時ふと横をみると・・・

アサガオの花がひっくり返って水溜りの上に・・・
花びらが水をはじいてきれいに浮かんでいます。

次々に子どもたちも集まってきました

どうして浮かぶのだろう？

なんで水をはじくのか？

自然には「不思議」がいっぱい詰まっています。

何をきっかけに始まったのか・・・？
子どもの発想に驚きです。



『☆5歳児 からふるゆめ』



はうす（保育参加）☆』

5歳児さんの秋の保育参加
自分たちで遊びを考え、必要な物は自分たちでそろえます。その中で様々な自然を意識して遊びを展開していきます。

○むしクイズ

虫が好きな男の子たちは「虫クイズ」まずは大好きなカブトムシのクイズ。

次のクイズは超難問・・・ 園庭で見つけた卵・・・それをクイズにしていました。



「この卵は何の卵でしょうか？」

皆さん分かりますか？お母さんの「分からないよ」の言葉に子どもたちのヒント

子「卵のまわりにネバネバがあります」 母「カタツムリ？」

子「ブ〜♪」 母「ナメクジ？」

子「ぴんぽ〜ん♪正解でーす」 大人も知らない難問にお家の方は感心の様子でした。

○自然物を使った喫茶店

シンプルですが奥が深い、定番の泥団子
まん丸ピカピカの上級品です。あまりの出来に
お母さんもノリノリです。



こちらは、どんぐりやまつぼっくりを使ったオシャレなピザ。説明に熱が入ります。

自分でメニューを考え、絵や字を使ってメニュー表を作る・・・お客さんへのおもてなしの心も忘れていませんでしたよ。

○どんぐりころがし

これを作るまでには様々な困難が・・・何でつけようか・・・ちょうどいい傾斜をつけるには・・・どんぐりが外にこぼれ落ちないように・・・などなど
台は段ボール、障害物には小枝やどんぐりの帽子、下のカップの入る場所で点数が違います。悩みながら遊びながら作ったからこそ、大人も子どもも夢中になって遊びます。



さあ～高得点を狙って、お父さんも挑戦、しかし相手は自然物を使って子どもたちが作った台・・・パチンコ屋さんのようにはいきません。

